



架け橋

第3号

(令和3年6月1日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

最後の最後まで、あきらめずに全力で

校長 芳崎 正道

6月に入ります。東海以西の地域では、平年より20日以上も早く梅雨入りとなっています。関東地方の梅雨入りは平年では6月7日頃とされています。彩り鮮やかなアジサイが、梅雨の到来を待ちわびるように、校内敷地の各所で咲いています。



アジサイ (職員玄関奥)

さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付け、市内全校において、いじめ撲滅に向けて取り組んでいます。いじめの問題について考え、いじめが起きない集団や学校を作ろうとする意識を高め、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進しています。

目には見えないものですが、人間誰もが「心」を持っています。きれいな花を見て、「きれい!」とか、努力の末に目標を達成し「うれしい!」とか、時には試合に負けて「くやしい!」などと感じる、それが「心」です。

時に、その「心」に「悪魔」がささやいて、人として言うてはいけないことや、してはいけないこと、自分がされたら嫌なことを、わかっていてわざと言ったり、やったりすれば、それが「いじめ」につながります。これは、もしかしたら、誰もが経験のあることかもしれません。

「ダメ」なことは「ダメ」です。言うてはいけないこと、してはいけないことは、自分でブレーキをかけなくてはなりません。いじめは、人として絶対に許されない卑怯なことです。

三橋中の生徒は、いじめをしません! 三橋中の生徒は、仲間にいじめをさせません!

三橋中の先生方は、いじめを見逃しません!

教職員・生徒・保護者の方々・地域の方々、力を合わせて、三橋中からいじめを撲滅するべく取り組んでいきます。

さて6月5日より、学校総合体育大会市予選が始まります。運動部の3年生にとっては、中学校生活最後の大会です。

チャンスを逃すこともあるかもしれない 結果がついてこないこともあるかもしれない
そのたびに落ち込むこともあるかもしれない 一度チャンスを逃しても自分を責めなくていい
本当に頑張っていたなら自分を誇りに思うこと その自信こそがまたチャンスを引き寄せる
最後まで諦めなければ チャンスは何度でもやってくる

(「チャンスはやってくる」より)

作: 田口久人さん: キャリアコンサルタント・キャリアカウンセラー、仕事・人生などをテーマにした著書多数)

令和2年3月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響で、緊急事態宣言等の発令のたびに、部活動が中止となったり、活動時間・日数などに制限が加わったりしました。そうした様々な制限のもと、思うように活動・練習がなかなかできないという、試練に直面してきました。そんな試練を乗り越え、ここまで取り組んできた経験は、間違いなく皆さんにとって大きな力になっています。

3年生の皆さん、保護者の方々、それぞれに格別な思いを胸に、大会に臨むことと思います。今まで、ともに歩みを重ねてきた、部内のかけがえのない仲間や後輩たちとともに、**最後の最後まで、絶対にあきらめず、全力を出し切れるよう、心から願い、応援しています。**

1・2年生の運動部の皆さんには、3年生の先輩たちがベストを尽くせるよう、心からの感謝の気持ちをもって、自分たちが先輩のためにできることを精一杯尽くして欲しいと思います。